

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

(正社員 6名)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である		2名	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援に必要な場所の確保が難しい。 ・少し狭いと思う。 ・学習と公文式学習とで区切るとより集中しやすくなると思う。 ・訓練室は狭いが、公園に行くなどで身体を動かしている。 ・もう少しスペースが欲しいが、工夫して使用する。
	②	職員の配置は適切である	5名	1名		<ul style="list-style-type: none"> ・正社員とパートの数を改善したい。
	③	衛生面の管理が行き届いている	6名			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、掃除・消毒を徹底して行っている。 ・定期的に子どもが使うおもちゃなどを消毒している。 ・毎日、徹底した清掃ができています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4名	2名		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングなどでより掘り下げていくと良いと思う。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	2名	3名	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度のみの実施となっている。 ・保護者向けの評価表をあまり見た事がない。
	⑥	自己評価の結果を公開している	3名	1名	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の結果が分からない。
	⑦	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	2名	4名		<ul style="list-style-type: none"> ・情報(研修)があまりない。 ・ADHD、自閉症などの研修に参加して、職員の知識向上を図りたい。 ・研修の回数は少ないと思う。 ・研修になかなか参加できていない。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5名	1名		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズが多いので、子どものニーズで計画を立てていきたい。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6名			<ul style="list-style-type: none"> ・全体で行っているのが良い。 ・計画の話し合いもしっかりできている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6名			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、会議を行って工夫ができています。 ・室内、屋外でも色々な活動を考案している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5名	1名		<ul style="list-style-type: none"> ・その時、その場でミーティングを行っている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5名	1名		<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動に難しい子どもの活動計画を充実させたい。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5名	1名		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼やミーティングでしっかり話し合いができています。 ・支援の内容は確認しているが役割分担がはっきりしない時がある。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5名	1名		<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティングでしっかり話し合いをする。他職員の記録も読むなど、支援の改善に努めたい。 ・支援記録は記載しているが、内容が客観的に書けていないことがある。職員全体で相談をして、支援の検証、改善に努めていきたい。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5名		1名	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング月でない時でも、必要性があれば計画の見直しをするなどしている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	3名	2名	1名		

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3名	2名	1名	・学校からの情報が少ない。 ・特定の学校としか情報共有等が出来ていないので、他校との連携も図りたい。 ・連絡調整はできているが、学校行事等の把握が十分にできていないこともある。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている	1名	3名	2名	・保育所等との連携も図りたい。 ・保育所との連携の強化をしたい。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1名	3名	2名	・今までに該当する児童がいなかったのでは分からない。 ・現状で対象児童はいないが、情報提供などができるように、障がい福祉サービス事業所の勉強をして、理解を深めていく。 ・対象児童がいたことがないが、今後の為に準備等をしたい。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1名	3名	2名	・研修を受けてみたい。 ・関係機関との情報共有や放デイの研修はあるが、より機会を増やしたい。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5名	1名		・送迎時に保護者との会話を大切にしている。 ・送迎時に子どもの様子を報告している。多くの家庭とそれができよう関係性を深めていきたい。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5名		1名	・契約時に説明を行っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4名	2名		・子育てを経験してきた立場もあり、適正かは分からないが助言を行っている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	2名	3名	1名	・より多くの保護者に参加頂けるような企画を考えたい。 ・保護者交流会は年に1度くらいなので、親子参加型の行事やイベントを提案していきたい。 ・保護者同士が連携できる機会はあまりない。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3名	3名		・苦情などには迅速かつ適切に対応したい。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5名		1名	・毎月、発行ができています。
	㉗	個人情報に十分注意している	5名	1名		
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5名	1名		・保護者への言葉使いには気をつけている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	3名	2名	1名	・地域への参加行事があまりない。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	4名	1名	1名	・マニュアルがどこにあるか把握しきれていない。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	3名	3名		・年に2回は行う。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5名	1名		
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5名	1名		・契約時に説明を行っている。他書類にも署名を頂いている。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている		3名	3名	・薬を飲んでいる子どもがいらない。 ・与薬表の記入はない。 ・与薬表に記入はしていないが、その日預かった薬があれば職員間で周知してチェックを行っている。 ・薬を事業所で服薬する子どもがいらない。朝、服薬する子どもがほとんどでたまに朝忘れて事業所で服薬することがある。
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	3名	3名		・ヒヤリハットは常時記録している。